

誠にお手数ですが、こちらの番号まで FAX にてご回答ください。

Fax: 03-3222-5420 担当ドッカ (Ducke) /メルケ (Moerke)
研究プロジェクト『日本における知識社会と人口構成の変化』のためのアンケート

1. 産業界と市民社会の諸機関の間に動いた（転職）した人の例をご存知ですか。
 はい いいえ
回答が「いいえ」の場合は問5にお進みください。
2. 「はい」とお答えになった方に聞きます。移転した人は、どちらの方向に移動しましたか。
 産業界→市民社会 市民社会→産業界 どちらへも
3. 問1にて「はい」とお答えになった方にお聞きします。企業と市民社会のどちらがこの転移の推進力となっているのでしょうか。
 産業界 市民社会
4. それはなぜでしょうか。短くご意見をお願いいたします。（答えが長くなる場合は、問10をご参照ください）。

5. 人の移転は、知識の移転をもたらす（またはもたらす可能性がある）と思いますか。
 はい いいえ
回答が「いいえ」の場合は問10にお進みください。
6. 問5にて「はい」とお答えになった方にお聞きします。その知識が転移されなければ、世間に表れない、あるいは失われる可能性があると思われませんか。
 はい いいえ
回答が「いいえ」の場合は問10にお進みください。
7. 知識の転移が有益なものであるならば、そのことによって利益を得ているのは…。
 企業 市民社会 そのどちらも
8. 知識の転移には不利益な点があると思われませんか。
 はい いいえ
9. それはなぜでしょうか。短くご意見をお願いいたします。（答えが長くなる場合は、問10をご参照ください）。

10. 日本の知識経済と高齢化社会の持つ問題について、直接お会いしてお話を伺う機会を設けさせて頂くことに同意して下さる場合は、以下の項目にご記入をお願いいたします。

勤務先 _____
役職 _____
お名前 _____
Eメールアドレス _____
電話番号 _____
Fax _____
ご住所 _____

11. その他、私共へのご質問やご意見、アドバイスなどがございましたらお願いいたします。

ご協力頂きまして、誠にありがとうございました。